



第

53

年度

スローガン

「夢をカタチにしよう」

54th vol.1

1

活動報告

第53年度ゆかた例会

令和元年 8 月 9 日 浜湖月にて

(参加者 40 名)

演題: OJB をふりかえって

講師: 岸上 奨 会員 (第 30 年度入会)

石山 隆一 会員 (第 32 年度入会)



第 53 年度ゆかた例会は琵琶湖のほとり『浜湖月』にて開催されました。

ご卒業される岸上会員・石山会員に対して川瀬幹事長・西野研修戦略幹事の名司会者コンビが質問をしていく方式で行われました。20 年を超える会歴を振り返り、様々な思い出、後輩会員への叱咤激励などお二人のユーモア有るお人柄がよくあらわれた講演となりました。

『岸上先輩のご卒業に寄せて』

上野 和幸 会員



僕が入会した時は岸上先輩はあまり例会に見えていなくて、接点もなく、正直どのような方が分かりませんでした。でも、お通夜ご葬儀にはほぼいらっしやっていて、律儀な方だと思っていた。ある時、勇気を出してお話しさせてもらおうと勝手に自分で決意して、岸上先輩に、前日にあった東小 PTA の総会と懇親会でお世話になったお礼を一生懸命お伝えしたら、「それ、俺じゃねーな」と言われてしまい、その時初めて岸上先輩と上田先輩の区別がつくようになったのも今となっては甘酸っぱい思い出です。加納会長のもと、一緒に役員をやらせて頂く事も出来ました。大変勉強になりました。ご卒業は大変寂しいですが、これからも区別のつかない後輩達のご指導ご鞭撻を宜しく願います。

『石山先輩ありがとうございました』

奥田 祐太郎 会員



石山先輩、ご卒業おめでとうございます。32 年度入会ということで、20 年以上にわたって大垣青年重役会活動に携わってみえたこと、ほんとうにお疲れ様でした。入会した当初、会歴の長い先輩と初めて接点をもつときは、緊張するものですが、石山先輩は笑顔で気さくに話しかけてくださったことを思い出します。その後普段から、また誰に対しても、目が合うや否や遠くの方からでもニコニコしながら小柄な先輩が近づいてきてくださり、たいへない話でいつもコミュニケーションをとり盛り上げてくださいました。私は役員をご一緒させていただいたことはありませんが、ゆかた例会でお話された 40 年度の役員をされた時、林家正蔵さんの講演会の段取りをご苦労されつつも成功に導かれた経験を拝聴し、実直で責任感のある石山先輩らしさを感じました。それは長きにわたる消防の地域活動や、私もご一緒させていただいている他団体での会計、役員活動の場面においても、その気さくで高いコミュニケーション能力とともに実直で責任感ある石山先輩の姿を見習わねばと思っておりました。OJB 会員としての活動は卒業となりますが、また例会等でお会いできるのを楽しみにしつつ、様々な地域活動で一緒させていただく機会もあろうかと思っております。ご卒業されても石山先輩の多方面での活躍、祈念しております。



川瀬会長から岸上会員・石山会員へ特別会員認証状が授与されました。また、お二人と同学年で旧知の仲である松本歴代・鳥居会員に思い出を語って頂きました。



▶ 第53年度川瀬会長から第54年度近沢会長へ会旗の引き継ぎが行われました。



浅野歴代の中締めで懇親会がお開きとなりました。



安堵の表情の川瀬会長と引き締まった顔の近沢会長です。



懇親会は松本歴代による乾杯のご発声でスタート！

▶ ゆかた例会2次会（浜湖月内さざなみにて 参加者35名）



長屋歴代による乾杯の挨拶

川瀬会長を囲む第53年度役員の皆さん



ご卒業の会員を囲んで遅くまで話に花が咲きます



ご卒業のお二人には綺麗な花が贈呈されました



大橋歴代の中締めで本年度の行事も最終となりました

第53年度役員の皆様から、 一年を振り返ってのご感想を頂きました。

会長 川瀬 知哉 『夢をカタチにしよう』

第53年度を無事に終えることができ、会員及び役員の皆様には多大なご理解とご協力をいただきありがとうございました。私が第53年度の事業を考えた際、会長をやらせていただける機会を必ず有意義な1年にしようと考えていました。各委員会に1名の幹事によりコミュニケーションよく事業を展開すること。新規研修事業の委員会創設によりこれまでやらなかった研修をやること。縦割りの組織にチーム事業という横串を入れ、前年通りという事業をなるべく無くすようにすること等、それらが事業を運営する役員の活力となり、その活力が会員皆様に伝播し、より良い事業になると信じていました。年度が始まる前から様々な角度やそれぞれの立場で案を持ち寄り、何度も話し合う中で事業としてカタチにできたのは大きな自信につながりましたし、大変でしたが非常に楽しく刺激のある1年でした。そのような年度にさせていただけた皆様にあらためて感謝致します。

副会長 近沢 正 『第53年度を終えて』

第53年度、川瀬会長のすぐそばで、その言動や振る舞いなどから大いに学ばせていただきました。いままでにない事業をいくつも実行したチャレンジの年度であったことも、貴重な経験となりましたし、それら一つ一つに向けた役員の方々の仕事ぶりからも色々と勉強させていただきました。私自身、この1年を振り返ると、改めてOJBは研修の会なんだと再認識させていただきました。1年を共に過ごさせていただいた川瀬会長はじめ役員の方々の皆さん、そして会員の皆さん、ありがとうございました。

直前会長 加納 浩二 『感謝』

今年度は直前会長という役をさせていただき学ばせていただいた。53年度の会長と役員の方々が活躍するのをほぼ見守りだけの1年間でした。川瀬会長が1年間しっかりと役員をまとめて運営しているのを傍でみさせていただき、それがまた研修となったと思います。私では考えつかない事を考え提案する川瀬会長、それを川瀬幹事長、執行部の皆さんが委員長、副委員長と一緒に実行に移していく。引退した経営者が次代の経営者に感じる嫉妬のような感情も感じた気がします。また受け継がれ、変わっていく、そういったものを感じた一年でした。本当に素晴らしい経験と研修をさせていただいた川瀬会長と53年度執行部、役員の方々に感謝の一年です。また、副会長、会長、直前会長と3年間楽しくすごさせていただけました。ありがとうございました。

監査役 江森 正 『ありがとうございました。』

川瀬会長、川瀬幹事長はじめ、役員の方々の皆様そして会員の皆様のご協力いただき、役員を1年間務めることができました。ありがとうございました。53年度は、川瀬会長の強い思いがあり、色々なことにチャレンジした年度だと思います。各役員がそれぞれ会長の思いを理解し、協力し形にしていけた53年度ではなかったかと思えます。私自身もこの53年度の役員として参加できた事が色々な事を学ばせていただき、沢山研修させていただくことができました。ありがとうございました。

相談役 浅野 信哉 『幸せな役員』

第37年度、重役会に入会。
第38年度、当時増田副会長より「浅野くん、一緒に38年度やろう」と言われ何もわからず初めての役員。
第40年度、当時大角副会長より「浅野さん、もちろん頼むね」と言われフワフワしながら初めての執行部。
第43年度、当時三輪副会長より「浅野くん、幹事長やって」と言われドキドキの幹事長。
第47年度、当時藤井歴代より「浅野くん、そう言うことだから」と言われてワクワクの会長。
第53年度、歴代会長会議にて「来年度、浅野くんね」と言われて幸せな相談役。
第53年度川瀬会長が最終例会で言われた通り、ドキドキやワクワクなど幸せになるためのワードがたくさん詰まった役員を経験させていただきました。この機会をいただいたすべての方々へ感謝申し上げます。ぜひ、会員の皆様もこのような機会がありましたら活かしていただけたらと思います。ありがとうございました。

幹事長 川瀬 竜也 『役員を終えて』

会歴も浅く、役員としての経験も少なく、同じ執行部の方々はみな先輩ばかり・・・。そんな私の立場を知ってか知らずか、川瀬会長は私を幹事長という大役に任命しました。アタマおかしいんじゃないかと思いましたが、川瀬会長が集めた22名の役員の方々の顔ぶれを見たとき、組織の勉強をするのにこれほどの機会には他にないのではないかと感じ、思い切ってお受けしました。それぞれの役の仕事について把握し、その役に就いた人を理解し、周りの情報を共有し、同じ目標に向かって共に努力する。普段の経営に、直接活かせる研修をさせていただきました。53年度の運営が上手くできたかどうかの自信はないですが、私自信の研修としてこれ以上の経験はありません。お付き合いくださった第53年度役員の方々の皆様、1年間本当にありがとうございました。

例会幹事 松田 俊治 『一年間ありがとうございました。』

私もこれで6回目の役員をさせていただきました。諸先輩方や同期会員や後輩会員に支えていただきながら何とか一年務めさせていただきました。役員を受けるときは、この会を使用してやりたいことを思い切ってやろうと思っています。その度にかいた恥や失敗は数多くありますが、小さく無難にでは成長も少ないのかなと思っています。今年度は特にコミュニケーションの重要性が勉強になったのではないかと思います。想いを伝えることもそうですが、この経験を今後の人間関係の構築にも役立てていこうと思います。来期以降は、私よりできる方達の運営となりますので、静かにそして熱いまなざしで自己研鑽に励みたいと思います。ありがとうございました。

広報幹事 中島 繁樹 『第53年度役員を終えて』

第53年度では、広報幹事を務めさせていただきました。初めての幹事ということ、ひろばをメール配信にするなど変革の時に自分に務まるのか不安の中でのスタートでした。今、一年を終えて思うことは、ひろばやメルマガなど広報委員会活動は、松下委員長をはじめ青木・加藤両副委員長に滞りなくやっていただきました。本当にお疲れさまでした。幹事らしいことは出来ていたのかは、ちょっと謎ですが、、、。また、今年一年間の広報幹事の目標として例会のプレスリリースをやり続けることを決めました。毎月の例会を聴き、プレスリリースをする。そのことが例会へ望む気持ちを過去にないくらい真剣にさせてくれました。結果的に、一回も新聞には載りませんでした。自分の世界が広がる良い経験になりました。今年度、川瀬会長にお声をかけていただき、良い経験が出来ました。また、川瀬幹事長をはじめその他の執行部・役員、会員の皆様にも助けていただき一年間終わることが出来ました。本当にありがとうございました。

会計 井納 宏自 『みなさんお疲れさまでした!』

執行部をやらせてもらい、本当に色々勉強させて頂きました。53年度は楽しくもあり大変でもあり、今までの役員経験の中でも一番思い出に残る年度になりました。初の執行部入りでの会計でしたので不安もありましたが、役員の皆様に助けてもらいながら1年間無事に終わる事が出来ましたことを改めてお礼申し上げます。今年度のスローガン「夢をカタチにしよう」を改めて読み返させてもらい1年を振り返ってみました。そこで目標を立て行動する事の大切さ、これがやりたいという思いを通す心の強さと行動する事の大切さ、そして川瀬会長の53年度に掛ける熱い思いを1年間通して体験させて頂き感謝しております。終わってみればあっという間1年でしたが本当に53年度役員の方々と楽しくやらさせて頂きました、皆さんお疲れ様でした。

研修戦略幹事 西野 英乙 『夢という挑戦』

この度は53年度役員の方を頂き、誠にありがとうございました。今年度は川瀬会長の『夢をカタチにしよう』を基に多くの挑戦をさせて頂きました。会員の皆様から頂いた会費で、いかに研修の団体として適した予算の選択と集中をする打ち合わせを何度も何度も致しました。結果として、例会の軽食化やひろば、訃報の電子化、MQ戦略など多くの新しい活動に繋がり、会の活動として挑戦する事が進化をする事だと改めて研修させて頂きました。また、このように新しい事を行うにあたって、川瀬会長を始めご協力頂いた役員の方、暖かく見守って下さった会員さんや、会の寛容な風土に大変感謝をしています。今回研修した、夢をカタチにしようを自社で落とし込み、多くの方のお役に立てるよう日々真剣に経営していきます。ありがとうございました。

例会委員長 白井 俊治 『一年間を振り返って』

今年度は、例会委員会で連続4回の例会を担当しました。委員会としては、できるだけ皆さんに、新しい視点をもっていただけるような企画をしたつもりですが、いかがだったでしょうか。活動を通じて、いろいろな勉強もすることができましたし、あらたな人脈も得ることができました。実りの多い一年だったと思います。ありがとうございました。

例会副委員長 西松 恭伸 『第53年度を終えて』

第53年度で例会副委員長をさせて頂きました。第52年度の広報副委員長に続き、2回目の役員でしたが、今回は、新しい役割で、司会など自分がやったことのないことにチャレンジさせていただきました。自分自身苦手なことを担当幹事や委員長支えられながらチャレンジすることができ、とてもいい経験になりました。特に白井委員長にはさまざまなアドバイスを頂き、様々な面で支えて頂きました。毎月、少しずつですが、レベルアップができたのではないかと思います。この1年振り返って、1年間一緒にやってきた例会委員会のメンバーに感謝の気持ちでいっぱいです。最後に、1年間の役員という研修が終えられたのも、会長、幹事長をはじめ役員の方のおかげです。1年間本当にありがとうございました。実りの多い一年だったと思います。ありがとうございました。

例会副委員長 水野 靖弘 『第53年度を終えて』

OJB に入会して、2年目で初めて役員を経験させて頂きました。このような機会を与えて頂いた川瀬会長はじめ執行部の方々、一緒に事業を作りあげた研修委員会のメンバー、また例会にたくさん参加して頂きました会員の皆さんにとっても感謝しています。まだ入会したばかりで組織に慣れない中ではありましたが、新しい環境で、新しい考え方の中、新しい仲間たちと過ごすことで自分自身一段階成長できたのではないかと思います。私がこれまで経験してきた内容が、少しでもOJBの事業のエッセンスになっていれば幸いです。なかなか時間の取れない中、臼井委員長には頼り切ってばかりでしたが、よいチームで楽しく一年過ごすことが出来ました。ご協力頂いたみなさま本当にありがとうございました。

広報委員長 松下 元嘉 『53年度役員を終えて』

第一回役員会の時「やるなら楽しくやりたい」と言いました。広報委員会は初めてで、どうなることかと思いましたが、委員会思いの担当幹事と優秀な副委員長に恵まれ、楽しく、充実した一年間だったと実感しています。ありがとうございました。私はメルマガ担当で最初は何を書けばいいのか全くわかりませんでした。とりあえず新聞やニュースなどで何かネタは無いかと探し、配信半月前からパソコンと喧嘩していました。だんだん要領が分かってきた最後の方は、二日間くらいで作成できるようになりました。(内容は別として…)最初にオチを決め、使いたい言葉やネタをメモし、書く順番のイメージを作ることで、むやみにパソコンに向かうより、スピーディーで正確だと自身で経験させて頂きました。結局段取りが上手にできるかどうか！今更ながら勉強できました。絶対仕事に活かしていきます。一年間ありがとうございました。

広報副委員長 青木 信秀 『役員を終えて』

川瀬会長をはじめ役員の皆様、一年間本当にありがとうございました。広報委員会は他の委員会より早く委員会活動が始まり、52年度の家族親睦会が初めての仕事でした。その際、どのような写真を撮ればいいのか全くわかりませんでした。松下委員長はじめ役員の方の手助けもあり、何とか無事に初仕事を終えることができました。それからあっという間に過ぎた一年でもあり、充実した一年でもありました。役員をやらせていただき、自分自身本当に成長できたと思います。そして何より仲間にも助けられた一年でもありました。松下委員長、加藤副委員長ありがとうございました。そして温かく見守っていただいた中島広報幹事、ありがとうございました。

広報副委員長 加藤 肇 『ひろば』

第53年度の1年間、特に「OJBひろば」の作成に携わらせていただきました。ひろばの記事は例会や行事等の報告が主ですので、例会や行事に出席していない会員や特別会員がターゲットとなります。このような方々に例会や行事の内容や雰囲気等を如何に伝えるかは非常に難しく、試行錯誤の連続でした。誌面上で例会や行事の内容や雰囲気等を伝えるうえで最も重要となるのは、なんといっても写真です。青木副委員長に例会や行事における最適な写真を多数撮影して頂いたおかげで、毎号のひろばを何とか完成させることができました。松下委員長からは、ひろばを作成するうえで最適なアドバイスを頂き、中島広報幹事には、完成したひろばをしっかりとチェックして頂きました。ひろばの作成は孤独な作業となりがちかもしれませんが、広報委員会のチームワークを感じながら作成を進めることができましたので、当初想定していたよりも随分楽しい一年間でした。

会員委員長 小川 真人 『第53年度役員を終えて』

今年53年度の役員会員委員を引き受けました。10年ぶりの役員はある意味わかっているようで全く知らない事ばかりでした。杉野会員、説田会員に助けをもらいながらなんとか無事に努めさせて頂きました。今年の新入会員のフォローは10人もいたので連絡事項など行き届かなかった点や反省することが多かった。次年度は役員、会員の手助けもあり多くの新入会員が入る予定です。役員の仕事は目に見えない多くの学びや気遣いなど研修させてもらい自分なりに勉強になりました。あと2年足らずで卒業しますがこれからも精進させていただきます。

会員副委員長 杉野 辰彦 『第53年度役員を終えて』

1年間、川瀬会長はじめ役員の皆様とご一緒に活動させて頂けた事に感謝申し上げます。会員副委員長のお役を頂き、入会3年目で昨年とはまた違ったいろいろな体験と研修をする事の出来た年度でもありました。会員委員の活動の中で今期初めて行った名刺交換会に向け、事前準備の重要性、成功に向けて入念な打ち合わせ、タイムスケジュールの大切さを新ためて学ぶ事が出来ました。今期の新入会員の方と関わり会え、お話も多く出来た事に感謝しております。そして、井納会計、小川委員長、説田副委員長、行事チーム担当役員の皆様には大変助けて頂く事ばかりでしたが、私自身貴重な経験と学びの多い時間でもありました。53年度役員の皆様会員の皆様1年間本当にありがとうございました。

会員副委員長 説田 裕高 『第53年度を終えて』

第54年度は会員委員会副委員長を経験させていただきました。OJBでの役員が初めてだったという事もあり、非常に緊張しながらも小川委員長、杉野副委員長に助けをいただきながらも1年間務めさせていただきました。この1年で学ばせて頂いた新入会員候補者へのアプローチや組織運営、役員会での進行方法など自社に持ち帰り、活用していけるようにします。本当に1年間ありがとうございました。

研修戦略委員長 渡邊 雅大 『第53年度を振り返って』

まず、会員の皆様には、1年間、大変ご協力いただきありがとうございました。また、川瀬会長をはじめ、執行部・役員の皆様、大変お疲れ様でした。初めての委員長という立場で、さらに今までにはない研修戦略委員会という役回りで大変なこともありました。自分にとっても大変勉強になりました。第53年度は新しいことの連続の1年ではありましたが、そこから得られた経験や知識はこれから先の糧となり、新たな大垣青年重役会のカタチを生む材料になるのではないかと思います。最後に、1年間務め上げることができたのも、研修戦略幹事ならびに同副委員長の手助け合っただけのことです。この場を借りて御礼申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

研修戦略副委員長 金森 実輝彦 『初役員を振り返り』

この1年間、役員を務めさせて戴く中で私が心がけたことは、率先して行動し、会の為になる事であれば率直に意見を言う、という事でした。そのように皆様に受け取って戴けたかどうかはわかりませんが、私なりにそうしてきたつもりです。「どうせやるなら」と言う表現は適切ではないかもしれませんが、仕事の上でも前向きに考え行動する事は大切だと思っておりますし、能力も重要ではありますが、それ以上に問われるべきは事に当たる姿勢だと思うからです。自分も周りも「気持ち良く」を心がけた1年間でありました。最後にこのような場と経験を与えて戴いた川瀬会長を始めとする会員の皆様方に御礼申し上げます。1年間、ありがとうございました！

研修戦略副委員長 長谷部 綾子 『印象深い一年になりました。』

初めて役員を務めさせていただきました。私は、全く会の事を知らない状態だったので、言われるがまま行っているという状況でした。あまり自分から動くことは出来なく、特に渡邊委員長には不憫な思いをさせてしまったかと思えます。私の中では会の事を少しは知る事が出来たということと、今までお話ししたことのなかった方も沢山お話しできた事は本当にありがたい事でした。私なりに得るものが多く、1mmくらいは成長できたかな・・・(笑)。役員の皆様は、それぞれ一人一人が自分の役割をこなしていて、日の当たらない場所でもしっかり務められているのだなと感じました。会社の組織においても学ぶべき部分がありました。私に色々と呼咤・助言をしてくださった方々、ありがとうございました。来年は2mmくらい成長出来るように努めて参ります。

8月ドネーション

- | | |
|---------------------|--|
| 岸上 奨 会員
石山 隆一 会員 | ▶ 皆様、楽しんでいただけたかな？これからも商売、私生活共に日々精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくおねがいします。 |
| 足立 貴保 会員 | ▶ 娘の所属する興文中女子ハンドボール部が、岐阜県中学校選手権大会で優勝いたしました。ありがとうございます。 |
| 加納 浩二 会員 | ▶ おかげさまで昨日で結婚4年をむかえました。 |
| 会員親睦チーム | ▶ 当日はなんとか天気も持ち、66名のご参加をいただきありがとうございました。 |
| 例会委員会 | ▶ 1年間お付き合いいただきありがとうございました。 |
| 広報委員会 | ▶ 1年間ありがとうございました。 |
| 研修戦略委員会 | ▶ 1年間ありがとうございました。私たちにとっても研修のできた1年となりました。 |
| 会員委員会 | ▶ 今年1年間ありがとうございました。たくさんの方の会員のご紹介を頂きまして、皆様のご協力ですべて11名の新入会員を迎えることができました。ありがとうございました。 |
| 53年度執行部一同 | ▶ 会員の皆様のおかげをもちまして、無事務め上げる事ができました。1年間ありがとうございました。 |
| 川瀬 知哉 会長 | ▶ 第53年度、皆様のおかげをもちまして無事にゆかた例会まで終えることができ、ありがとうございました。今後も更なるOJBの発展を願い、御礼とさせていただきます。 |

第54年度新会長インタビュー

スローガン『初心を大切にしながら経営にのぞもう』

新会長 近沢 正

Q1: いよいよ54年度がスタートします。今の心境をお聞かせください。

A1: 入会した頃に先輩会員が「会に入った以上会長を目指すべき」とお話しされていたのを記憶していますが、まさか自分が会長に就任させていただく事になるとは思ってもいませんでした。会長という立場は一番研修にできるというお話しも伺った事がありますので、第54年度、真摯に謙虚に取り組んでいきたいという心境です。

Q2: 第54年度スローガン「初心を大切にしながら経営にのぞもう」に込められた想いを教えてください。

A2: 何事も長年携わっていると、慢心や慣れがでてくるものです。私自身も OJB 入会から 11 年を経て、研修や行事の場において慣れがでてきているのかもしれませんが、研修を慣れでこなしていくのではなく、入会した頃に失敗をして恥ずかしい思いをした事や、そこからの自身の成長を今一度思い返して謙虚にのぞみ、OJB での研修を自身の会社経営にも役立てて頂きたいとの想いを込めたスローガンです。

Q3: 今年度の例会や委員会で注目して欲しいところがありますか。

A3: 入会以来たくさんの会長の下で研修をさせていただきました。その経験から、会にとっての古き良き物を今一度、改めて見つめ直す必要があると思います。ネット環境の充実や SNS の活用など、技術の進歩により運営方法も変わってきましたが、忘れてはいけない事、大切にしなければならない事があります。例会や委員会活動においても令和の世に合った方法を取りながらも、OJB が大切にしてきたものをもう一度見つめ直して、次年度以降に紡いでいきたいと考えております。

Q4: 令和年度最初の会長として意識するところがありますか。

A4: 年号が変わった年というのは会員の皆さんにとっても記憶に残る年になるのではないのでしょうか。その年に始まる年度の会長を拝命したことの重みを実感しております。

Q5: OJB 会長として大変多忙の一年になりますが、普段なにか健康に気を付けていらっしゃることはありますか。

A5: まずはストレスを溜めない事ですね。仲間とお酒を酌み交わし色々なことを語り合う時間を大切にしています。またコーチを務めるサッカー少年団の練習や試合では、子ども達と一緒にボールを蹴ったり走り回ったりすると気分が爽やかになりますね。

Q6: 最後に会員の皆様に向けてメッセージをお願いします。

A6: 第54年度は会員数 83 名と過去最大規模となります。OJB は大垣市で唯一の研修に特化した団体であり、業種・年代も様々な会員と関われる貴重な場です。普段自社では経験できない事を会ですべてやっていく事は、なによりの研修になると思います。また、一般会員だけでなく、会の OB である特別会員の皆様から学ばせていただく機会もあります。なんといっても皆さん同じ会の仲間ですので、世代をこえて相談しあえる場であることを大切にしていきたいです。



第53年度会員親睦会

開催日：令和元年7月20日
場所：大垣市青年の家にて
参加人数：会員31名
(配偶者10名・家族25名)

流しそうめん、じゃんけん大会、
クレーンゲームなど大人も子供も
大喜びで盛り上がりました。



新入会員説明会

開催日：令和元年7月22日
場所：奥の細道むすびの地記念館
参加人数：20名



四季の会

開催日：令和元年7月26日
場所：駅前にしき
参加人数：13名



第18回全国高校生 ポスターコンクール表彰式

開催日：令和元年8月18日
場所：大垣市スイトピアセンター

第53年度川瀬会長が来賓として
テープカットに参加致しました。



9月のお知らせ

9月記念講演及び総会

日時 令和元年9月9日(月)
<受付>18:20～
<講演>19:00～21:30

講師 衆議院議員 棚橋 泰文先生

演題 国政から見る地方経済

場所 大垣フォーラムホテル

第1回飲んで語る会

日時 令和元年9月9日(月)
22:00～23:30

場所 くらぶ喜月

会費 4,000円

合同委員会

日時 令和元年9月17日(火)
19:00～21:00

場所 丈山の里 いずみ庵 大垣店

会費 5,000円